

様式

市民意見提出手続（パブリック・コメント）の実施結果について

「宗像市雨に強いまちづくりビジョン～雨水管理総合計画～（案）」について、市民意見提出手続（パブリック・コメント）を実施しました。その結果は次のとおりでしたので、報告します。

計画・条例案等の名称	宗像市雨に強いまちづくりビジョン～雨水管理総合計画～	
内容	浸水対策の基本的な方針と実現方策を示すもの	
実施期間	令和6年 1月15日（月）～ 令和6年 2月14日（水）	
意見提出状況	1 人	5 件
提出された意見の内容及びその回答	別紙「宗像市雨に強いまちづくりビジョン～雨水管理総合計画～（案）」に関する市民意見提出手続の意見及びその回答」のとおりです。	
問合せ先	都市再生部 都市計画課 雨水管理まちづくり係 〒811-3492 宗像市東郷一丁目1番1号 TEL： 36-1484 FAX： 36-7005 メール： tosikei@city.munakata.lg.jp	

様式

宗像市雨に強いまちづくりビジョン～雨水管理総合計画～（案）に関する

市民意見提出手続の意見及びその回答

箇所	意見	対応	回答
P52	ハード対策として「貯留浸透施設」の表記がありますが、P53 整備内容の中には貯留施設の説明はあるものの、貯留浸透施設についての具体的な説明がありません（索引で単語の説明はされていますが市の施策として予定がないのであれば P52 に記載した理由は为什么呢）	一部修正	一般的な対策の例示として、「貯留浸透施設」を使用していましたが、御意見のとおり、「浸透施設」の整備は計画していないことから、わかりやすい表現とするため、「貯留浸透施設」を「貯留施設」に修正します。
P52	段階的整備のイメージグラフにおいて、連携による対策として「田んぼダム等」があげられています。田んぼダム等の効果に期待するのであれば田んぼの維持管理が今後中長期～最終目標時まで継続されていることが前提となります。計画策定にあたって例えば田んぼダムサポーター制度で効果が期待できるかどうか、地元農事組合などへのヒアリングや説明機会を設ける必要がありませんか。	原案どおり	田んぼダムの取り組みは、地元説明会を行い農事組合などの協力を得ながら、徐々に対象範囲を拡げているところです。 田んぼを継続して維持管理してもらうための手助けとなるよう田んぼダムサポーターの方には自走式草刈機の貸し出しや畦シートの配布などを行っています。 今後も、地元農事組合などの協力を得ていく中で、必要に応じてヒアリングや説明機会などを設けながら、取り組みを進めていく予定です。
P54	分析結果と整備計画について、浸水要因が似ている栄町・くりえいとエリア、田熊エリア・田久エリアですが、整備計画を見ると既にポンプ施設がある田熊エリアにポンプ整備を行い、今ポンプ施設がない栄町・くりえいとエリア、田久エリアにはポンプを設置せずに調整池の整備を行うこととなっています。その理由を具体的に示す必要があるのではないのでしょうか。	一部修正	御意見を踏まえ、理由を示すため表現を修正します。
P54	「溜める」対策の選択理由について「用地確保が見込める」とあります。具体的にどのような用地の確保が見込めるのか、またその根拠をお示しいただけないのでしょうか。	一部修正	浸水箇所周辺などの適切な場所に調整池整備に必要な広さの用地が存在するかどうかで選択しているため、「用地確保が見込める」という表現を修正します。

P55	<p>赤間駅周辺地区（栄町・くりえいとエリア、田久エリア）は人口密度も高く、立地適正化計画及び宗像市地域公共交通計画（案）において宗像市唯一の中心拠点と位置付けられています。仮に浸水した場合は多数の市民や駅利用者に影響が出ると言えます。また、立地適正化計画では誘導区域として住民を増やす目標や、公共交通計画（案）でも駅の利用者を増やす目標が設定されていることから、最重要地区として早期に具体的な整備計画を策定する必要がありませんか。</p>	原案どおり	<p>赤間駅周辺地区（栄町・くりえいとエリア、田久エリア）は、重要な地区として考えているため、当初からフラップゲートの整備や調整池整備に向けた検討などを進めていく予定です。</p> <p>しかし、当該エリアに必要な調整池は、整備規模が大きいことなどから、事業化までの期間や施設整備にかなりの時間を要すると想定しており、効果が発現するのは令和20年頃になると考えています。</p>
-----	--	-------	---